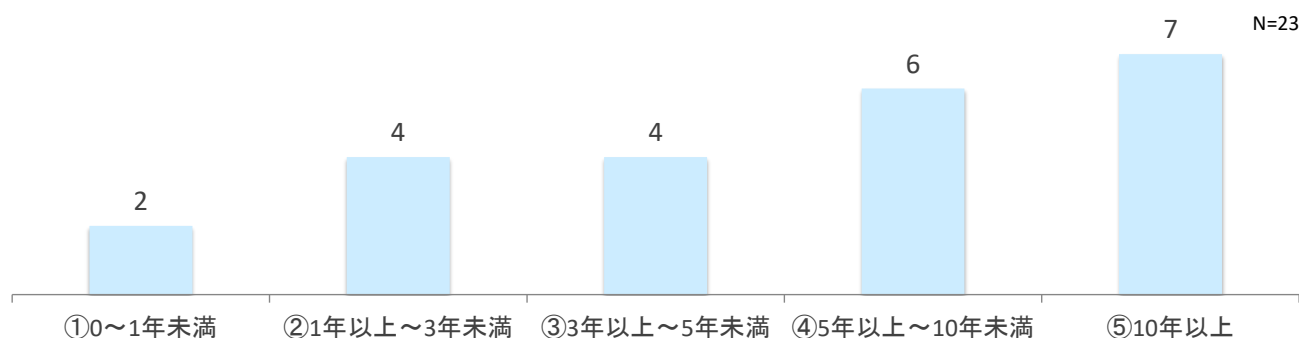


第19回 実務者研修会 受講後アンケートへの協力依頼

研修会日時：平成29年7月29日(土曜日) 13時～17時30分

別添資料1

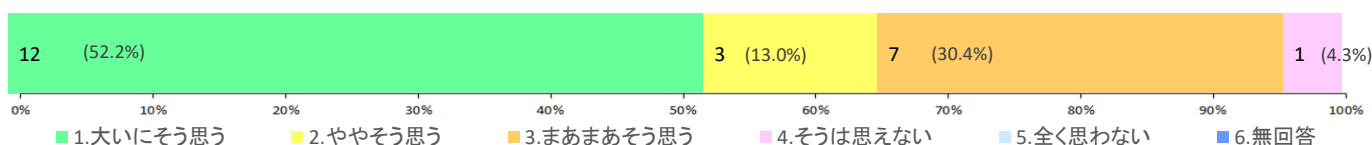
設問.1 CRC経験年数について、該当する数字を①～⑤より選び○をつけてください。(平成29年4月現在)



設問.3 本研修会内容(講義とワークショップ)について、あなたの一般的な手ごたえを、5段階の中より一つ選び数字に○をつけてください。

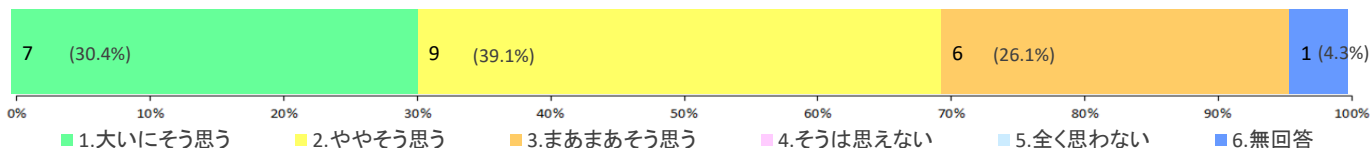
① 本研修会の内容は、リーンシックスシグマの理解を深めるきっかけになりましたか。

N=23



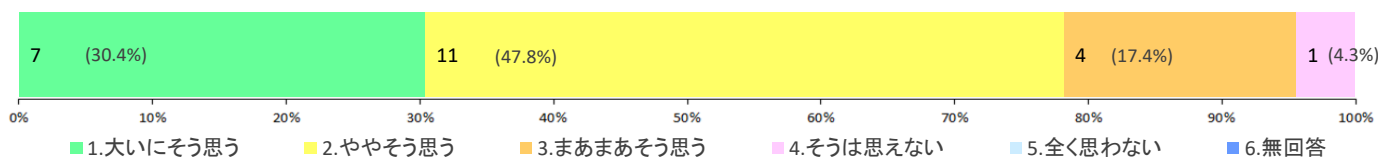
② 本研修会の内容は、あなたの参加動機に応えることはできましたか。

N=23



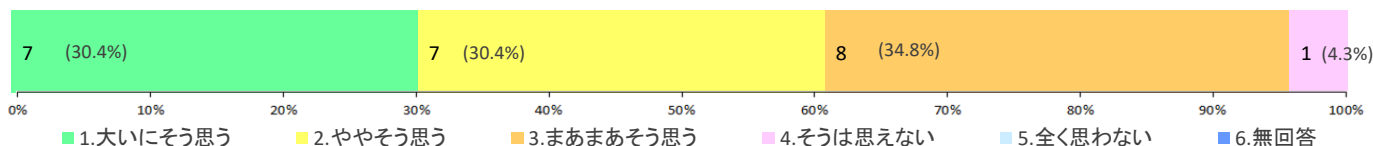
③ ワークショップを通して、進め方のイメージを掴むことはできましたか。

N=23



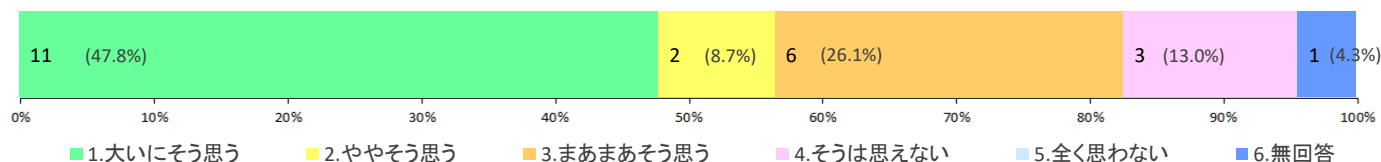
④ あなたの施設の業務改善活動の参考になると感じますか。

N=23



⑤ あなたの施設でも取り組んでみたいと思いますか。

N=23



設問.4 研修会受講後のあなたの理解の手ごたえを、5段階の中よりひとつ選び数字に○をつけてください。



設問.2 あなたが本研修会を受講しようと思った動機について教えてください。

- ・研修の資料に「KAIZEN」という言葉があり、内容を確認したくなりました。改善を行う工程が今まで学んだ問題解決技法に似ていると思い資料を読み、無駄をなくすためにはどのようにするのか学びたいと思い研修に参加しました。
- ・LSSの手法を学び、当院における解決すべき問題に対し、スタッフ全員で取り組む仕組み作り(KAIZEN活動)に役立てたいと思ったため。
- ・シックスシグマの手法を学んで、職場に持ち帰り、日々の業務改善に生かすため。
- ・CRC室の質管理の担当になったため。
- ・Six Sigmaについて学びたく、また研修会を通して交流をもちたかったから。
- ・新しい(初耳)ことでしたので、どのようなものか資料を読んだだけではピンとこなかった為。
- ・日々の業務か、CRC業務以外の(看護部の災害リスクナース活動)がうまく進まず、改善策が必要と思ったため。
- ・リーンシックスシグマという手法がどのようなものか関心があった。
- ・LSSをどのようなものか理解し、普段の業務に役立てることが出来ればと考えました。
- ・今年4月入職してからアライアンスの会合に出席したことがありませんでしたので、是非参加したいと思ったのが第一の理由です。系統立った業務改善の手法のようでしたので、日々の業務に役立てることができればと思い参加しようと思いました。
- ・業務改善の手法について、学習するため。
- ・日々の業務の中で改善したいテーマがあっても、分析するなど出来ず、効率的に解決策を見出す事が出来ずにいたため。
- ・日頃の業務の中で、逸脱を繰り返してしまう時、何に注意すれば良いかや、新規治験の立ち上げや業務が重なった時に効率良く、正確に行うにはどのように協力して行えばよいか悩んでいたため、解決方法を学びたいと思いました。
- ・業務の非効率をどのように解決しているか、講義やワークショップだけでなく、他の大学で取り入れている手法などの情報交換を行うことで自施設に活かしたいと思ったため。
- ・CRCの業務で、改善が必要なことが多々あるが、手を付けられていないため、KAIZENの手法を知りたいと思ったため。
- ・シックスシグマとはいったい何か、講義と演習を通しながら学んでみたいと思ったため。
- ・LSSIに興味があったから。当院では、部門内WG活動でDIAのLSSグループと協働した経験がありますが、残念ながら、LSS自体の情報共有がなされていなかったため、自身がキチンとした知識を身に付けたいと考えて参加しました。
- ・効率の良いCRC業務ができるようになりたい。
- ・担当試験を増やしても業務の時間が増えない仕事力を習得できたらと思いました。

設問.5 本研修会の内容(講義・ワークショップ)を通して、もっと知りたかったことはありますか？

- ・ワークショップにもう少し時間を頂けたら良かった。(Measure以降の手法もグループで実践できたらよりイメージがつかめたと思う。)
- ・CRC向けの話題に対し講義をありがとうございました。概論が理解できるとおのずと各論の実際へと関心が高まりました。初回であること、限られた時間であることより充分わかりやすい講義でした。欲を申せば、ツールを用いた実際の事例や考え方をもっと知りたいと思いました。
- ・企業や臨床試験関連(施設)でSix Sigmaを導入して改善したところをもっと沢山知りたかった。
- ・時間的に難しいかもしれないが、リーンシックスシグマの一連の流れを体験したかった。
- ・知りたかったことではありませんが、感想です。
ワークショップの時間がもう少しあれば、もっと理解が深まった(イメージできた)のではないかと思います。
- ・「もっと知りたかったことがある」というより、4時間では足りなかったなというのが印象です。毎日〇時間の研修を〇日…というのがわかる気がいたしました。むしろ、4時間でエッセンスをお伝え下さったことに感謝いたします。ありがとうございました。
実際に現場で取り組み始めると、疑問点が出てくるのかなという気がいたします。
- ・活動事例など、各自で確認が可能な内容に対して多くの時間を割くより、ワークショップなど、人が集まっているからこそできる内容に重きを置いた研修の方法がよかったのでは、と感じました。
- ・今回の短時間の講義だけでは、中途半端な理解で終わってしまった印象です。
- ・ワークショップで全てのグループを同じテーマにしてそれぞれがどの様に分析するのか見てみたかった。
- ・事例をあげて、それをもとにグループでワークショップを通して、事例の問題解決ができると、より深く理解が得られたと思います。
- ・それぞれのツールをもっと時間をかけて深めることができたらよかったです。
- ・特にDefine、Measureのところは詳細に知りたかった。
- ・Defineの行程が非常に大事なので、過程設定プロセスの詳細をお伺いしたかったです。
- ・プロセスマップの作成手順については、事例を元に具体的に考えてみると分かるのかもかもしれないが、「プロセスの粗さ」に決めることは意外に難しいのではないかと感じました。
- ・Fishboneダイアグラム作成において、拳がった意見を元に分類を再設定することもある、とのお話をいただいたが、具体例を見てみたいと思いました。
- ・皆がCRC業務上で問題と考えている点を知れてよかったです。もっと知りたかったです。

設問.6 今後、実務者研修会として取り上げてほしい話題や要望などありましたら記入してください。

- ・CRC実務に関する研修会であれば何でもよい。
- ・臨床試験の成功例を知りたい。例えば他部門と協力し合って、スムーズな臨床試験を進める方法など。
どうしてもタテ割り体制でヨコとのつながりが希薄なので。
- ・今回の実務者研修会を土曜日に開催していただいたので、業務を気にせず複数名で参加できたのでよかったです。
毎回は、なかなか難しいかもしれませんが、土日開催していただければ他施設の方とも多く交流できるのではないのでしょうか。
- ・今回のようなワークショップ形式の方が他大学の方との交流を深めることもできるので良いと感じました。
- ・業務だけでなく管理的業務の取り組みなどを教えて頂ければ嬉しいです。
- ・もう一度リーンシックスシグマについて。
癌、難病など専門性が求められる治験に適切にサポートするための方法について。
- ・一度講義を聴いただけで実施できるものではない、とのお話をいただいたので、もう一度リーンシックスシグマのテーマでワークショップが開催されたら参加してみたいです。
- ・SMOのCRCと共存して仕事するという問題点が出てきました。経験の浅いCRCばかりのため仕事の整理、どこまでやったらいいのかなどCRCの原点にかえった研修があるといいなと思います。